

## J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取中央） 2月号

### 1. 丑年 新年プレゼントキャンペーンを実施！

コロナ禍の畜産農家支援として、鳥取東伯ミートの商品券5,000円分を5名様に贈るキャンペーンを実施した。

鳥取県中部のケーブルテレビで1月16日以降に放送された「中部農業みらい宣言」の中で発表するキーワードなどを1月31日までに応募すると商品券が当たるというもので、美味しいお肉を食べて畜産農家を応援するという主旨で企画した。（応募総数：20件）



### 2. 倉吉・関金白葱生産部が白ネギの雪害規格出荷説明会を実施！

倉吉・関金白葱生産部は1月15日、倉吉市で雪害規格適用による出荷説明会を開き、生産者、J A 営農指導員らが参加した。

12月中旬と年末年始の降雪により白ネギに葉折れ・曲がりの被害が大きくなったことを受け、雪害規格を設定し適用することを決定した。

説明会ではJ A 営農指導員が雪害規格、特別規格について説明した後、生産者は事前に持ち込まれた雪害にあった白ネギの状態を確認した。

生産者からは「雪害規格の適用で出荷意欲が湧いてきた。一本でも多く出荷したい」といった声があがっていた。

中央営農センターの中尾営農指導員は「一本でも多くネギを出荷してもらい、不足することなく消費者にネギを届けたい。情報交換もして高値販売を目指したい」と話した。



### 3. 三朝神倉大豆の節分イベントを実施！

三朝町特産の「三朝神倉大豆」の新たな加工品の商品化に向けて「節分豆 無コロナ息災」を製造した。

2月1日には同町の各保育園や神倉商品を取り扱う店舗に無料配布し、「三朝神倉大豆」の認知度向上と同大豆を使用した大豆製品「神シリーズ」の消費拡大を狙った。

「節分豆 無コロナ息災」は同町の北野神社でコロナの終息を祈祷した祈念大豆で、味付け無しの炒り豆と、砂糖コーティングを施した二種類を作った。100g入りをそれぞれ250袋ずつ製造し各施設へ提供した。

この日は賀茂保育園と、竹田保育園で節分イベントを実施した。賀茂保育園では手作りの升を使用し年の数の豆を食べ、竹田保育園では園児がホットプレートで炒り豆作りを体験した後、外に向かって豆まきを行った。

直販課の杉原課長は「三朝町にある特産の神倉大豆をまずは地元の方にPRするとともに、コロナ退散を祈願した豆で元気になってほしい。また、保育園の保護者向けに三朝神倉大豆に関するアンケートを実施し、今後の製品作りに活かしていく」と話した。



以上